

第 6 グループ 令和 1 年度 第 2 回 議事録

【年間テーマ 抑制を緩和していくタイミングと取り組みについて考える】

令和 1 年 8 月 11 日提出

日付	令和 1 年 8 月 10 日 (土)			
場所	TPK 博多駅筑紫ロビジネスセンター		記録者名：宮崎 朝子(水戸病院)	
出席者	林 悦子	岩田 彩子	浅田 義雄	松本 太輔
(敬称略)	佐藤 美香	大倉 五月	宮崎 朝子	
テーマ	テーマを転倒転落にしぼり、抑制緩和や廃止のタイミングについて考える。			
結論	「抑制についての認識の統一」をテーマにあげていたが、テーマとして大きいため抑制を緩和、また廃止のタイミングについてテーマをしぼる事とした。グループで 1 番困っている転倒転落を課題とし、抑制具を最小限にする、また除去する取り組みについて考えた。			
決定事項	グループの施設ではチェック表をもとに評価し、抑制を最小限にしているところがあり、次回はそのチェック表をもとに話合う。各施設の抑制廃止に関係する書類をもちより、抑制を最小限または廃止について考え、発表にむけての話し合いを行う。			
備考	<p>[A 病院の私たちの A]</p> <p>① 切迫性がある前に状態を早期に把握し家族に同意書をもっておく。</p> <p>使用限度や辞めるタイミングはチェック表で評価しながら行う。</p> <p>② ①同様チェック表でリスクが高い順番で使用している。</p> <p>[B 病院の私たちの A]</p> <p>① アナムネで情報を収集し、趣味などの話を引き出し傾聴する。</p>			
次回討議事項	チェックリストの評価項目について			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp